

習い事による子どもの遊び空間の変化

—富山市の習い事に通う子どもを事例として—

卒業論文
11410119 西裕太郎



①既存研究-1

子どもの外遊びの時間が減少していることが問題に！



背景 (文部科学省 2009)

- ・子どもの生活全体で日常的に体を動かすことが減少している
- ・スポーツや遊びに不可欠な要素である時間・空間・仲間が減少している
- ・塾や習い事など子ども自身の多忙化から遊びに時間を費やすことが難しくなった



①既存研究-2

では、何が問題なのか？

外遊びが減少する→遊びの機能が低下する！

近江屋ほか (2011)

- ・遊びが子どもどうしを交流させる

- ・遊びによって子ども達が社会生活に必要な価値観や行動様式を学ぶ

- ・友達と遊ぶことで安心感を得ることができ、ストレスを軽減する

本研究の遊びの定義：自由な時間で複数の仲間と同じ空間と時間を共有して遊んでいることを遊びとする。

①既存研究-3

近江屋 (2011) & 大西 (1998)

子どもの外遊び減少の要因として習い事を取り上げた

大西 (1998)

「習い事に通うことで過去の世代が得ることのできなかった仲間や経験を得たり、遊び空間などが変化したのでは？」

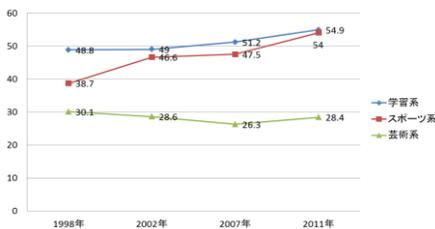


この指摘に対して・・・

「具体的にどのような変化がみられ、どんな遊び空間・時間・仲間を新たに獲得しているのか」を明らかにしたい！！



①既存研究-4



現在利用している塾や習い事の種類 (経年比較)

(Benesse 生活基本調査により作成)

習い事は、子どもの生活空間に大きな変化をもたらした要因だと判断

①既存研究-5

既存研究 (井上 2009; 佐々木 2009)

子どもの習い事・遊びは、必ずしも子どもだけで成り立たせることはできないことを指摘

本研究も子どもの習い事や遊びを考察するにあたり、その親の生活空間についても言及する必要があるのでは？

例：習い事には親の送迎が必要
遠くの友達に会いに行くにも親の送迎が必要



③調査目的と方法-1

目的

- 習い事が子どもの生活空間にどのような影響を与えているのか
- 習い事に通う子どもは、新たにどのような遊び空間・時間・仲間を得ているのかを明らかにする

手段

小学生への聞き取り調査（計30名 15～30分程度のインタビュー）

→ 子どもたちに現在行っている習い事について質問する
例：習い事の種類 場所 時間帯 内容
移動手段 移動時間

子どもたちに遊びについて質問する
例：遊び活動の時間 場所 仲間（学年、性別、きっかけ）
活動内容 遊び空間の選択理由（使用理由）
遊び空間ごとの遊び方



③調査目的と方法-2

目的

- 子どもの遊び空間が親に依存しているのかを検討する
- 親の交友関係が子どもの交友関係と一致するかどうかを明らかにする

手段

習い事に通う子どもの親への聞き取り調査（計5名 15分～30分程度のインタビュー）

→例：個人属性（家族構成・職業の有無等）
就業時間 子どもの送迎について
親どうしのつきあいについて

④調査結果-1

表1 子どもの習い事と遊び活動

学年性別	習い事日数(週)	習い事	移動手段	平日平均時間(分)	週末日数	よく遊ぶ遊び	遊ぶ仲間	よく遊ぶ場所		
A	6	6	剣道 熱	2時間	車	徒歩	11時	卓球 サッカー テレビゲーム	剣道の友達	体育館 友達の家
B	5	5	剣道	1.5時間	電車	11時	卓球 サッカー テレビゲーム	剣道の友達	体育館 友達の家	
C	6	6	剣道 音楽	1.5時間	車	徒歩	11時	卓球 サッカー テレビゲーム	剣道の友達	体育館 友達の家
D	5	6	剣道 ECC	2時間	車	21時	卓球 サッカー テレビゲーム	剣道の友達	体育館 友達の家	
E	6	男	なし	0時間	なし	31時	外遊び 遊具遊び ゲーム	近所の友達	友達の家 公園	
F	6	男	なし	0時間	なし	41時	外遊び 遊具遊び ゲーム	近所の友達	友達の家 公園	
G	6	男	なし	0時間	なし	31時	外遊び 遊具遊び ゲーム	近所の友達	友達の家 公園	
H	4	男	剣道 くもん	1.5時間	バス	歩	11時	テレビゲーム	同じクラスの友達	友達の家
I	4	女	剣道 ピアノ	1.5時間	電車	自転車	21時	アプレール	違うクラスの友達	友達の家
J	5	女	剣道	1.5時間	車	徒歩	21時	おしゃべり	同じクラスの友達	友達の家
K	5	男	剣道	1.5時間	車	11時	サッカー 電ごっこ 遊具遊び	同じクラスの友達	近所の体育館	
L	5	女	7 くもん 剣道	2時間	車	徒歩	11時	おしゃべり	同じクラスの友達	友達の家
M	5	男	2 剣道	2時間	車	21時	サッカー	同じクラスの友達	学校のグラウンド	
N	5	女	6 剣道 習字	1.5時間	車	徒歩	21時	読まない	なし	なし
O	5	男	3 剣道	1.5時間	バス	11時	テレビゲーム	同じクラスの友達	自分の家	
P	5	男	4 剣道 音楽	1.5時間	車	21時	野球	同じクラスの友達	近所の公園	
Q	5	男	2 剣道	1.5時間	車	21時	野球 サッカー	同じクラスの友達	友達の家 公園	
R	5	女	2 剣道	2時間	車	21時	一輪車 バドミントン	同じクラスの友達	自分の家	
S	5	男	5 剣道 くもん	1.5時間	車	徒歩	遊ばない	なし	なし	なし
T	6	男	6 剣道 熱	2時間	車	徒歩	11時	卓球 サッカー テレビゲーム	剣道の友達	体育館 友達の家
U	6	男	4 サッカー	2時間	車	31時	電ごっこ サッカー	近所の友達	近所の公園	
X	6	男	3 剣道 英会話	2.5時間	車	11時	おしゃべり	剣道の先輩	先輩の家	
Y	6	女	1 習字	2時間	徒歩	21時	テレビゲーム 外遊び	同じクラスの友達	公園 友達の家	
Z	6	女	なし	0時間	なし	電ごっこ その他外遊び	同じクラスの友達	公園	友達の家	
A'	6	男	5 剣道	1.5時間	車	21時	前遊び 遊具遊び	同じクラスの友達	公園	
B'	6	男	2 剣道	2時間	車	11時	アプレール	剣道の友達	友達の家 公園	
C'	6	男	3 ものぼん 熱	1時間	車	41時	カードゲーム サッカー	剣道の友達	友達の家 公園	
D'	6	男	2 水泳	1.5時間	車	21時	テレビゲーム	水泳の友達	友達の家	
E'	6	男	4 熱 水泳	1.5時間	車	徒歩	21時	テレビゲーム	同じクラスの友達	友達の家
F'	6	男	5 剣道	1.5時間	車	21時	読ばない	なし	なし	なし

表中のアルファベット記号は図1と図2の記号と同一である (聞き取り調査により作成)

④調査結果-2

習い事による時間の制約

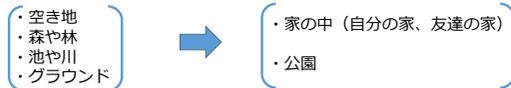
- ・習い事の多い子どもの遊ぶ日数に対して、習い事が少ない子どもの遊ぶ日数は、1日、2日程増えている
- ・友達との交流が最も多く行われる時間帯(17時30分前後)に対して、その時間帯を含む17～20時の時間帯に習い事がある



子どもたちは、習い事に通うことによって時間的制約を受けている

④調査結果-3

子どもの遊び空間の減少



- 遊びが許可されない管理区域の成立や土地利用の変化
- 親の監視が届く範囲および比較的安全な空間へ

子どもの遊び空間が制限されている

④調査結果-4

過去の研究では取り上げられてなかった空間が遊びに利用されていた

AとBの発言：「剣道教室が始まる45分前に武道館に数十人で集まってサッカーやキックベース、ドッチボールをする。そこには、学年関係なく、いろんな子と遊ぶ」

Lの発言：「学校が終わって、そのままくもんに通う。そのくもんの教室に行くまでの通り道とくもんが始まるまでの時間に友達の子とおしゃべりをしている。」

Uの発言：「習い事のサッカーが始まる前に、サッカークラブのメンバーで鬼ごっこや缶けり、とりかごをやって遊んだりしている。クラスの友達と遊ぶより楽しい。」

子どもの遊び空間が制限されている中で、習い事が子どもを同じ空間に集め、同じ遊びを行う時間を作り出している

→ 新しい遊び空間が存在しているのではないかと=遊び空間の変化がみられる

